

# 作業仕様書

別紙 1

## 1 日常清掃

### (1) 床清掃

ア 弾性床、硬質床等の床は、隅は自在ぼうき、広い場所はフロアダスター（ダストモップ）又は自在ぼうきで丁寧に掃き、集めたごみは所定の場所に搬出すること。  
また、床全体又は汚れの目立つ部分をモップで水拭きをすること。

イ 床材の区分にかかわらず、移動困難な什器・備品等の床部分は、清掃を省略できるものとする。

### (2) フロアマット

真空掃除機で丁寧に埃を取り除くこと。

なお、玄関ホールにあっては、冬期間、マットに雪がつまったり凍結したりしないよう十分注意すること。

### (3) 扉ガラス（玄関ホール）

汚れの目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きをすること。

### (4) 什器備品（玄関ホール）

タオル、ダストクロス等で埃を取り除くこと。

### (5) ごみ箱

ごみを収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをすること。

### (6) 金属部分（玄関ホール）

タオル、ダストクロス等で埃を取り除くこと。

### (7) 扉・便所面台のへだて（便所・洗面所）

汚れた部分は、水拭き又は適正洗剤を用いて拭くこと。

### (8) 洗面台及び水栓（便所・洗面所）

スポンジで適正洗剤を塗布し、洗浄の上、タオルで拭くこと。

### (9) 鏡（便所・洗面所）

適正洗剤を用いて乾拭きすること。

### (10) 衛生陶器（便所・洗面所）

適正洗剤を用いて洗浄し、拭くこと。

### (11) 衛生消耗品（便所・洗面所）

トイレットペーパー、水石鹼等を補充すること。

### (12) 汚物容器（便所・洗面所）

内容物を収集し、所定の場所に搬出すること。容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをすること。

### (13) 流し台（給湯室）

中性洗剤を用いてスポンジたわしで丁寧に洗浄し、タオルで拭くこと。

### (14) 厨芥容器（給湯室）

茶がら入れ等の厨芥を収集し、所定の場所に搬出すること。容器を適正洗剤で洗浄すること。

(15) 建物周囲

玄関周りを自在ぼうきで丁寧に掃き、集めたごみは所定の場所に搬出すること。  
また、汚れの目立つ部分をモップで水拭きをすること

(16) ごみ収集

集められたごみを種類毎に分別し、適当な分量に梱包して所定の場所に搬出すること。

2 特別清掃

(1) 床の洗浄

ア 弾性床は、隅は自在ぼうき又は真空掃除機、広い場所は自在ぼうき又はフロアダスターで丁寧に埃を取り除き、集めたごみは所定の場所に搬出すること。床面に適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布し、洗浄用パッド（赤）を装着した床磨き機により皮膜表面の汚れを洗浄し、吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去した後、床全面をモップで2回以上水拭きを行い、汚水や洗剤分を除去したあと十分に乾燥させ、樹脂床維持剤を塗り残しや塗りむらがないように原則として1回塗布（格子塗り）し、十分に乾燥させること。

なお、清掃する際には椅子等の軽微な什器の移動を行い、終了後元の位置に戻すこと。

イ 硬質床は、隅は自在ぼうき又は真空掃除機、広い場所は自在ぼうき又はフロアダスターで丁寧に埃を取り除き、集めたごみは所定の場所に搬出すること。床面に適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布し、洗浄用パッド又は洗浄用ブラシを装着した床磨き機により汚れを洗浄し、吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去した後、床全面をモップで2回以上水拭きを行い、汚水や洗剤分を除去したあと十分に乾燥させること。

なお、清掃する際には椅子等の軽微な什器の移動を行い、終了後元の位置に戻すこと。

(2) ブラインド

適正洗剤を用いてスラット等を拭くこと。

(3) 窓ガラス

ガラス面を洗浄した後、窓ガラス専用スクイジーで拭きとること。